

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートセンターとらいあぐる				
○保護者評価実施期間	2025年12月15日		～	2026年01月10日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	26	
○従業者評価実施期間	2025年12月15日		～	2026年01月10日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年01月21日				

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	就労A型B型も併設しており、将来を見据えた取り組みができる。実際、就職を見据えたデイに通う高校生の職場体験も行い、スムーズに就職に移行できる環境にある。普段から、畑に収穫に行ったり、収穫したものを売る体験をしたり、社会体験をできる場もあり、子どもたちが自分から学べる環境がある。	毎月の活動を、支援を考えながら、参加しやすくなるような内容で事前に決める。毎日担当者が事前にやる内容を考えて、必要なものを用意しその日に備える。同じものはなるべく選ばず新鮮なものに取り組めるようにしている。また、体幹体操やドッジボールな体を動かす活動、本を読んだり、製作など静の活分けて取り組むなど、子どもに分かりやすくしている。	児童一人一人にスポットを当てた支援について話し合い、職員が共通の認識をもち、誰でも対応できるようにいつも話し合いをしている。また、保護者と懇談することにより、子どもの今の様子、課題など共通の認識がもてる。
2	いろいろな社会体験の場に行ったり、農園に行って農作物の収穫をしたり、元気市での体験販売などを行ったり、いろいろなことに触れ合える機会を与えている。	子どもたちの活動の機会を増やせるように、事前に下見をし、職員同士連携し安全に配慮しながら取り組んでいる。	職業体験の場など、回数を増やして行くことも考えたい。昨年は、デイが移転したこともあり、保護者同伴の夏まつりを行って新しデイを見てもらった。今年もまた保護者参加型の夏まつりを考えている。
3	毎月活動カレンダーは、新鮮なものを取り入れるようにし、新しい活動を考えるようにしている。製作は、みんなが興味を持てるようにし、支援を考えながら、みんなができるように工夫するようにしている。	自分で頑張ることで、達成感が味わえるように、できたらほめることを大切にしている。また、月の終わりには、持ち帰り、家庭でも、しっかり見てもらえるようにしている。	支援のプログラムや集団活動の内容は5領域の視点を踏まえた支援を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	土曜日に休む職員が重なると、職員補充が難しいことがある。	家庭の事情で土曜日に休み希望の職員さんが多い。	土曜日に不出られる職員を増やす。
2	保護者にデイのことをもう少し知ってもらうためにも、夏まつりのような親子参加型のイベントをする。	仕事をしている保護者がほとんどのため、なかなか懇談を持ってない。	夏まつりは、祝日にしたので、多くの保護者に来ていただいた。またそういう機会を持ち、増やしていくことで対応したい。
3	事故防止マニュアル、緊急対応マニュアル、防犯マニュアルの徹底	常にそれが意識できるようにしていない。	事故防止マニュアル、緊急対応マニュアル、防犯マニュアルを常に意識して、職員には、毎回ファイルを見える場所に置き、保護者には機会をもうけて説明するようにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		サポートセンターとらいあんぐる				公表日	令和8年2月11日	
						利用児童数	32	
						回収数	26	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23			3	広々としていていいと思います。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19			7	普段何人くらい職員の方がおられるか存じ上げていません。契約している土曜日、職員が足りないと思われることがある。	職員が辞めた時など、人数が少なく受け入れにくいことがあるので、できるだけ、職員は余裕があるように配置したいと思います。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	3			4	新しい場所に移ってからの建物を見ていないので、また機会があった時に確認させていただけるとありがたいです。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	23	1	1	1	1	移転前は静かにするスペースを独占する子がいるので静かに過ごしたいときに利用できないと言っていた。新しいところになって子どもが喜んでいて、	移転前はそのような日もありましたが、移転後は広くなり、場所が困ることはなくなりました。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1		1	1	利用開始日から数年経過しニーズや課題は変化しているが、今の支援内容を見る機会が少ない。	今後は懇談を重ねてするようにしたいです。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1	1	2			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1		3		専門分野ではないので、ガイドラインの内容、支援内容、サービス計画等中身が分かりません。	支援内容を懇談でお伝えし、保護者の方にもわかりやすく説明するようにしたいです。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24			2		専門分野ではないので、ガイドラインの内容、支援内容、サービス計画等中身が分かりません。	支援内容を懇談でお伝えし、保護者の方にもわかりやすく説明するようにしたいです。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1		1	1	楽しいプログラムを考えてくださり、どうもありがとうございます。いろいろなことをさせてくれて感謝しています。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	3	2	14		なかなか難しいのかなと思います。そういった機会があるのか知らないだけかもしれません。	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23		1	2			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	4	4	9			
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	3	1	4			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25			1			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	5	5	4	12			
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1		3				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	3	3	8		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	2	1	6	見たこと、説明を受けたことがなく不明。	保護者にも周知できるように伝えることをしていきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2	1	10	いざというとき連絡がつかない場合、どこを探しに行けばいいか教えてほしい。見たこと、説明を受けたことがなく不明。	訓練は、定期的に行っているが、保護者へは、したときに連絡帳に書いている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			5	見たこと、説明を受けたことがなく不明。	保護者にも周知できるように伝えることをしていきたい。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	1	6	見たこと、説明を受けたことがなく不明。	事業所では、事故時の対応は職員同士連携を取り、保護者の方に速やかに連絡をとるようにしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26				とらいあんぐるさん大好きで毎回楽しそうに通所しています。安心して通わせられます。休みの日には次いつ行くのかと聞いてくることが多いです。楽しく通っているので感謝しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	26				いつもよくしていただきありがとうございます。連絡帳や口頭で毎回何をしようとしたか説明していただけるし、先生方もみなさんやさしくてとてもありがたいし、頼りにしています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サポートセンターとらいあんぐる		公表日		令和 8 年 2 月 11 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	動の活動と静の活動のスペースをしっかりと分けているところ		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	静かに過ごせる空間がない。 部屋が1つしかなく、分ける部屋がないので あれほしい。	今後、様子を見ながら仕切りをつけるか考 えたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	活動スペースが広いところはいいが、静かに するスペースが少ないように感じる。	トーンダウンする場所をつくれるように考 えたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認めら れる環境になっているか。	5	2	個別の部屋として使用できる環境を整備中。	個別の部屋を、どのように作るか、仕切り方 を考えたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り） に、広く職員が参画しているか。	5	2			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に つなげているか。	5	2			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	2	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	5	1			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計 画を作成しているか。	6	0		アセスメントシートは三か月に一回配って、 こどもと保護者のニーズをその都度確認しな がら、支援を行う	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責 任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こ どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2	共通理解をしているかは分からない。人によ って、いいか、悪いか基準が違う。	人それぞれのか考え方ややり方があるので、 みんなで話し合っ子どもに分かりやすい方 法で共有していきたい。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援 が行われているか。	4	2			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライ ンの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい 及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に 設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		本人支援に集中してるところ、家族支援、移 行支援及び地域支援・地域連携にも着目努力 する	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	4	個人で考えることが多いので話し合いなどは していない。	個人で考えることでも、どのようにするかは 相談の上でできる。全体ですることは、みん なで話し合い決めるようにしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた支援を行われているが、職員全員分かるように明確に提示する
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3		出勤の遅い職員、または当日休みの職員にも分かるように、打ち合わせの内容を記録し、伝達ノートを活用する
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	その都度あったことはみんなで話しています。	翌日の送迎前にミーティングを開き気づきを話しメンバーで共有できるようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	学校での過ごし方、デイでの活動について意見の交換を行っている。	送迎に行く職員が、担任の先生とその日のことを話し、デイの職員や保護者に伝えるようにしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	0	該当利用者なし。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	少ないように感じます。	地域の神社や公園は行くが、地域の人との交流はないので何か機会を考えたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		送迎の時、その都度親に支援のプログラムを伝え、情報提供し、家でもやってみてもらうように声をかける
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	1		

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	3		行事や集団活動の写真を月に一回保護者に通信として発信する
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		老人ホームとの活動、地域カフェでの接客体験、畑での野菜作りを体験。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	出入口が一つしかなく、訓練するとき、一か所しかないのが難しい。	防災訓練はしているが、外に出て、避難場所まで行くとき出入口が危ないように気をつけている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		事例があったとき、みんなでミーティングし、記録を共有する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		